

## 令和7年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立花保中学校 校長 村田 雅也

## 1 学校教育目標

自ら学び向上し合う生徒  
心豊かで協力し合う生徒  
健やかでたくましい生徒

## 2 現状の学校図書館の課題

- ①授業で活用する時間の確保が難しい。
- ②図書館に行かない、本を借りたことがない生徒が多い。

## 3 今年度の学校図書館の重点目標

- ①学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として利活用するよう、推進を図る。
- ②「全校ビブリオバトル」という学校全体の取り組みを通し、生徒が読書に興味をもてるよう支援する。

## 4 今年度の重点的な取組

- ①学校図書館で学習が円滑に出来るよう、環境を工夫する。
- ②読書時間を確保し、できるだけ図書館の本を読むよう様々なアプローチをする。
- ③生徒が行きやすい、居やすい場所となるよう工夫する。

## 5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①根拠を示して説明しよう ②メディアの特徴を生かして情報を集めよう ③情報を読み取って文章を書こう
社会	①中世の日本と世界 ②日本の近代化 ③私たちと国際社会
音楽	①②③歌い継ごう日本の歌 ①②③日本の郷土芸能
理科	①大地の変化 ②天気とその変化 ③地球と宇宙
保健体育	①②③健康な生活と疾病の予防 ①心身の機能の発達と心の健康

## 実践の評価

- ・年度末（令和8年2月から3月にかけて）に「国語科（2年）」「社会科（1年・2年）」での図書館を活用した学習を行うことができた。生徒にも好評であり、令和8年度の活用の増加につなげていきたい。
- ・社会科の活用は「令和8年度 図書館を使った調べる学習コンクール」を見据えている。この実践がコンクール応募の成果につながるよう継続した図書館活用を行いたい。

## 6 図書館運営計画

### (1) 日常的な取り組み

①読書時間の確保（昼休み、放課後）

### (2) 主な行事等の取り組み

全校ビブリオバトル、読書週間

### (3) 図書委員会などの取り組み

図書新聞の発行、読書イベントの企画、POP 作成

### (4) 環境整備の取り組み

閉架書庫を活用し、随時利用しやすい書架整備に努める。

### (5) 司書・外部との連携

- ①学習に必要な本を迅速に取り寄せる。
- ②特に授業への対応は円滑にできるよう、時間や資料の準備をより充実させる。
- ③公共図書館と常時連携できるよう、事務手続きを確認する。

## 実践の評価

(1)について、生徒アンケートでは「毎月1冊以上の本を読む」生徒の割合は29%であった。読書習慣の確立に努めたい。(2)はビブリオバトルが生徒に定着しつつある。読書週間を活用した図書館利用策を立てたい。(4)(5)については、図書準備室の工事終了や学校図書館司書の配置換えがある。これを好機ととらえ、環境整備や連携強化につなげたい。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	探究的な学習をICTと本、新聞など、複数の情報を利用して展開させる。	ICTと図書館を併用した調べ学習を実施した回数：年2回	達成できた。
②	読書タイムを確保し、生徒一人が年間5冊以上の本を読むようにさせる。	生徒の年間平均貸出冊数：10冊	生徒の年間平均貸出冊数は3冊であった。
③	年間の学習指導に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書や資料を活用した教員の割合：50%	年度を通じて17回の授業を行った。

## 8 学校図書館全体に関する自己評価

- ・学区内に「新刊本を扱う本屋」が見られない中、本に出合う環境を整える努力を継続している。
- ・校外学習の事前学習を各学年が図書の資料を用いて行うことができた。
- ・図書館資料を用いて調べたことにつき「引用元」を明示したり「参考文献」を表示する指導が抜けている場面が見られた。資料を提示する、壇上で発表する機会も多くなる中、きちんと指導したい。
- ・図書室の来室者を増やす目的で、図書委員が積極的にイベントや図書新聞作りに取り組んだ